人間学専攻

人間学専攻の特色

現代はグローバリゼーションの渦中にあり知識基盤型社会といわれる一方で、ローカリズムとの共存が問題となり、「グローカル」という造語まで登場しています。他方、その造語の欺瞞性が多くの識者たちから指摘され、同時に知識循環型社会という形容が妥当であるという指摘もあります。いずれにしても、知識の中身・質、知識が基盤になることの意味、不幸最小限の社会の可能性を問い続け、分断を超えた「共生」原理を探求することが人間学専攻の役割といえます。

本専攻では、人間存在の基礎を哲学、倫理学、宗教学、キリスト教学から学び、人間形成を教育学、認知科学から学び、人間を取り巻く社会制度や人権問題を法学から学びながら、「人間の共生」の原理を「自己の在り方」、「他者との繋がり」、「社会との関り」という三つの位相から深く切り込んで考えていきます。同時に、研究者として自立するために、研究倫理の厳密性を身につけ修士論文を完成させていきます。

ディプロマ・ポリシー

本専攻の到達目標は、以下の能力を身につける事です。

1．キリスト教精神についての深い造詣、人文系・社会思想系に関する高度で専門的な知識、高い倫理性を有している。
2．人間の共生に関する原理の追求のため、課題を発見し、原因を探り、その成立背景を探求した上で、あるべき共生原理を提示できる力量を有している。
3．共生社会構築のために人文系・社会思想系に加え、社会的環境・文化・芸術・国際交流などへも目配りし、学術情報のみならず、社会情報学あるいは文化コミュニケーションという観点からすべてを捉え直し、分野横断的規模をもった知見を有している。
4．自分の知見を深めるために、自分の問題・関心をまず既存の学問分野のコンセプトやキーワードに移し替え、換言する作業を行い、その中で自分の思考を鍛錬できる。拙速に陥らず、堅実に研究を進展させながら、オリジナリティを主張することができる。

カリキュラム・ポリシー

1．人間共生の原理探求のため人文系・社会思想系、分野横断的研究を含む幅広い科目群で構成する。いずれの科目でも大学院生としての学術的なレベルでの読む・書く・話す力量を身につけるため、原典講読・一次資料精査を伴う授業内容とする。
2．人間共生の原理探求のため必修科目は分野横断的内容とし全教員で担当する。選択科目は「特論科目」と「演習科目」とを配置する。特論では各分野の研究の最先端を扱い、演習では各分野の成立背景・学説史を学び、研究方法を修得できるようにする。
3．個々の学習成果を集約し修士論文を作成するための必修科目として「特別研究」を設置する。先行研究など学術情報の適切な収集、論文作成術、研究発表などの十分な力量が身につく指導を主指導教員が行う。同時に研究倫理を修得しながら学術的の高い研究成果となるように指導する。

〔カリキュラムの特徴〕

1．本専攻のカリキュラムは、必修科目と選択科目から構成され、各々「特論科目」と「演習科目」が設置されています。両者の各科目は、「人間の共生」に関わる課題探求に収斂するよう体系的に履修できます。
2．研究指導科目の「特別研究」では、指導教員が修士論文や専門領域の研究指導に留まることなく、院生の研究領域を考慮した進路設定への支援などを行うメンターとしても関わりつつ、本専攻の有機的に連関したカリキュラムに基づく教育により、あらゆる事象の本質を見抜く質の高い素養と見識とを身につくよう指導します。

〔科目の編成〕

1．必修科目として「人間共生特論」「人間共生演習」を設置しています。「人間共生特論」は、人間の共生に関わる諸課題について各様々な研究分野の最先端の学説を学び、共生を脅かす諸問題を分析し、人間の在り方、ある

べき社会を考察していきます。「人間共生演習」は、修士論文作成の基礎（修士論文の到達目標や評価に関するルーブリック）を踏まえ、様々な研究分野の学説史や研究方法を学び人間共生の原理を学んでいきます。

2．選択科目は、人間の共生に関わる諸問題を分野横断的かつ幅広い視野で追及し、関連する分野についての基礎的素養の涵養を図るとともに、学際的な分野に対応しうる能力と専門的知識を活用し応用する能力を体系的に修得できるように配置しています。

3．研究指導科目として「特別研究」を設置しています。「特論科目」及び「演習科目」において院生が個々の研究課題に取り組む基本的な知識と研究能力を醸成しながら、「特別研究」ではそれらを集約して最終的に修士論文を作成できるよう研究指導を行います。

カリキュラム表　修士課程（人間学専攻）

人間学専攻（修士課程）

授業科目名	履修学年と単位数		修得要件	研究科到達目標			専攻到達目標			
	1年次	2年次		1	2	3	1	2	3	4
宗教学特論	2		18単位以上	○			○			
現代思潮	2			○				○		
認知科学特論	2			○						○
法学特論	2				○			○		
教育哲学特論	2				○				○	
分野横断的人間学特論Ⅰ	2			○			○			
分野横断的人間学特論Ⅱ	2				○				○	
分野横断的人間学特論Ⅲ	2					○			○	
宗教学演習	2			○			○			
哲学・現代思想演習	2			○				○		
法学演習	2				○			○		
教育哲学演習	2				○				○	
分野横断的人間学演習Ⅰ	2			○			○			
分野横断的人間学演習Ⅱ	2				○				○	
分野横断的人間学演習Ⅲ	2					○				○
人間共生特論	②			○			○	○	○	○
人間共生演習	②			○			○	○	○	○
特別研究	⑧									

資格課程（人間学専攻）

【教職課程】

◇取得可能な教育職員専修免許状

指定する一種免許状（基礎免許状）を有する者で、修士の学位を取得し、教育職員免許法及び同法施行規則に定める単位を修得すれば基礎免許状に対応する専修免許状が取得できます。

所有している基礎免許状	取得可能な免許状
中学校教諭一種免許状（社会）	中学校教諭専修免許状（社会）
高等学校教諭一種免許状（公民）	高等学校教諭専修免許状（公民）

◇教育職員専修免許状の取得方法

1．入学前に上記の免許状（基礎免許状）を所有している場合、専修免許状取得のための科目・最低修得単位数は教職課程カリキュラム表の通りです。要件を満たすように履修計画を立ててください。

2．取得を希望する場合は、決められた時期に「資格課程願」を教務課へ提出することが必要です。また、放棄する場合には「資格課程履修放棄願」を提出することが必要となります。詳細については、ガイダンス等で説明します。

◇教育職員専修免許状申請

1．教育職員免許状の申請は、所定の科目と単位を修得した者について、本学が一括して「教育職員免許状授与願書」等を宮城県教育委員会へ提出します。

2．申請手続きについてはガイダンスを行います。また、申請に関して申請手数料を徴収します。（一旦納入した申請料は、いかなる理由においても返還いたしません。）

◇教育職員専修免許状交付

教育職員免許状交付は修了式を予定しています。なお、免許状は全ての都道府県で有効です。

◇教員採用試験

公立学校の教員になるためには、各都道府県が毎年行っている教員採用試験に合格しなければなりません。出願期間や試験日等は各都道府県で異なりますので、詳細は各都道府県の教育委員会に問い合わせてください。

また、私立学校の教員になるためには、学校毎に行われる採用試験に合格しなければなりません。募集等は毎年必ず行われるわけではありませんので、早い時期からの情報収集が必要です。

◇教職課程カリキュラム表

【中等教育課程】
「中学校教諭専修免許状（社会）」・「高等学校教諭専修免許状（公民）」

免許法施行に定める科目区分等	授業科目名	単位数	区分	取得免許における必選		開講学年
				中（社会）	高（公民）	
大学が独自に設定する科目	宗教学特論	2	専門	△	△	1
	現代思潮	2	専門	△	△	1
	認知科学特論	2	専門	△	△	1
	法学特論	2	専門	△	△	1
	教育哲学特論	2	専門	△	△	1
	分野横断的人間学特論Ⅰ	2	専門	△	△	1
	分野横断的人間学特論Ⅱ	2	専門	△	△	1
	分野横断的人間学特論Ⅲ	2	専門	△	△	1
	宗教学演習	2	専門	△	△	1
	哲学・現代思想演習	2	専門	△	△	1
	法学演習	2	専門	△	△	1
	教育哲学演習	2	専門	△	△	1
	分野横断的人間学演習Ⅰ	2	専門	△	△	1
	分野横断的人間学演習Ⅱ	2	専門	△	△	1
	分野横断的人間学演習Ⅲ	2	専門	△	△	1
	人間共生特論	2	専門	△	△	1
免許取得のための最低修得単位数			12 科目 24 単位以上			

取得免許における必選欄の△は選択